

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会
(事務局：全国私立学校教職員組合)
No.6 2021年7月2日(金)

7月9日 院内集会へ向け、参加組織、国会議員の参加確認など確認をすすめよう

全私研に向けてのとりくみお疲れ様です。同時並行で、国、都道府県の概算要求に向けた私学助成運動もすすめられているところです。6/12北陸、6/20九州、6/26～27東北、6/30関東など各ブロック会議では、夏のブロックキャラバンをはじめ対県要請についての議論もすすめられています。国の概算要求編成に向けては、既報の7月9日院内集会&中央要請行動が重要なとりくみになります。2022年度予算に反映させる制度拡充要求、経常費助成補助大幅拡充の声を大きく上げることが求められます。このとりくみの強化も各都道府県よろしくお願いします。

要請ハガキ・団体署名・個人要請書のとりくみをすすめましょう

コロナ禍への対策として経験した分散登校で、少人数学級の必要性、重要性が確認されました。この情勢が追い風となって公立小学校での35人学級が41年ぶりに実現し、中学校までの拡大も「骨太の方針2021」で触れられています。しかし、私立学校への拡大は触れていません。私学の教育条件の拡充は、私学助成の拡充以外に途がありません。今年の春の要請ハガキ、団体・個人要請署名の重点の一つになります。

また、2020年就学支援金制度拡充を対象生徒に届かせる各県の奮闘が反映し、施設設備費の授業料への移行が全国で一定前進しました。その結果私立高校授業料の全国平均額が43万3991円に増加しました。そのため、年収590万円未満世帯（例えば生活保護世帯でも）、約3万8000円の授業料負担が生じることになりました。真の「授業料無償化」にするためにも、就学支援金の加算額を「前年度授業料全国平均額」にすることが必要です。こちらも要請ハガキ・団体・個人要請署名の重点に据えています。

7月9日に文部科学大臣に提出する要請ハガキ・団体署名・個人要請書の集約に力を入れましょう。

国会議員との懇談・要請、院内集会の出欠の確認を!!

本日、神奈川：早稲田ゆき衆議院議員の事務所から、院内集会「参加の方向」の電話連絡が本部へ届きました（神奈川へもその旨は連絡しています）。電話をくださった秘書さんから「『全国私学助成をすすめる会』では専修学校の助成金の署名はとりくんでいませんか？」と質問されました。7月2日朝日新聞神奈川面では、神奈川県専修学校への就学支援金予算の2020年度執行率が50%に達していなかった問題が県議会で議論されたことが記事となっていました。そのことに反応した質問だった考えられます。国会議員が情勢に機敏に反応することの現れです。

私学の少人数学級実現を阻む低経常費助成の問題、授業料無償化はまだ途上の問題を国会議員に認識してもらうためにも、国会議員との懇談や要請、そして院内集会に参加していただくことが重要です。

各都道府県では、すでに参加要請を送っておられると思いますが、議員事務所に院内集会参加の有無を確認する連絡をし、その結果を本部へ知らせてください。

参加者の名簿での報告、国会議員の参加・不参加の報告の締切は7月8日(火)です

「学費の公私間格差・自治体間格差是正について 考える院内集会」

日時：2021年7月9日 11:00～

場所：衆議院第2議員会館・多目的会議室

※ 文部科学大臣宛「要請ハガキ」「団体署名」をこの日に提出します。

発文（訂正）25号に基づいて、全国各県のとりくみをよろしくお願いします。

※ 中央要請行動があります

※ 14:30～ 公私共同教育署名スタート集会 参加をよろしくお願いします。